

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公表番号】特表 2000-502425 (P2000-502425A)
【公表日】平成 12 年 2 月 29 日 (2000.2.29)
【出願番号】特願 平 10-519329
【国際特許分類第 7 版】
F 0 1 N 1/08
【F I】
F 0 1 N 1/08 Z

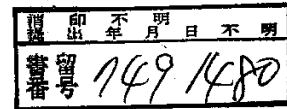
【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 5 月 7 日 (2004.5.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】



自発手続補正書

平成16年5月7日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第519329号

(PCT/US97/08323)

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国 90067-2199 カリフォルニア州
ロサンゼルス センチュリー パーク イースト 1840

氏 名 ノースロップ グラマン コーポレイション

(名 称)

3. 代 理 人

住 所 岐阜市大宮町2丁目12番地の1

TEL 058-265-1810 (代表)

ファックス専用 058-266-1339

氏 名 6875 弁理士 恩田 博宣



審査



4. 補正対象書類名

- (1) 明細書
- (2) 請求の範囲

5. 補正対象項目名

- (1) 明細書
- (2) 請求の範囲

6. 補正の内容

- (1) 明細書第2頁第15行「無制限に」の記載を削除する。
- (2) 明細書第3頁第2行「無制限の」の記載を削除する。
- (3) 明細書第3頁第23行「無制限に」の記載を削除する。
- (4) 明細書第4頁第5行「配設されている。」の記載の後に、「図1及び2に示すように、各孔38のサイズは約幅0.25インチ(0.64センチメートル)×長さ2インチ(5.08センチメートル)であり、各孔38の形状はほぼ細長楕円である。」の記載を追加する。
- (5) 明細書第4頁第14行「無制限に」の記載を削除する。
- (6) 請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。

「請求の範囲

1. a) ジェットエンジンの後端部に適合するほぼ円柱形状をなす前方の取り入れ開口部と、ほぼ四辺形状をなす後方の出口開口部とを備えるノズル部と、
b) 出口開放部の後方に位置する開放可能な騒音抑制室と、この室が2つの互いに対峙する封じ込め構造により区画されていることと、各々の構造が主表面を有し、貝殻方式でノズル部に蝶着されて閉鎖状態と開放状態との間で移動が可能であり、その結果閉鎖された時は一般に四辺形の断面をもつ室が出口開口部の後ろに位置されることと、
c) 各々の主表面1平方フィート当たり約15%から約25%が空間であり、かつ1平方フィート当たり約45個から約65個の孔が設けられるように、各々の封じ込め構造の主表面を貫通して配置された複数の孔とを備えるジェットエンジン用騒音抑制器排気構造。
2. 孔が主表面を貫通してほぼ均一に配置される請求項1に記載の騒音抑制器排気構造。
3. 封じ込め構造が閉鎖状態にある時、各々の後端部が互いに近接するように、各々の対峙する封じ込め構造の主表面が、後方に向けて高さがほぼ一定して低くなる2つの平行する側壁を備える請求項1に記載の騒音抑制器排気構造。
4. ノズル部の後方出口開口部が長方形である請求項3に記載の騒音抑制器排気構造。
5. ノズル部の後方出口開口部が長方形である請求項1に記載の騒音抑制器排気構造。
6. 閉鎖された室の断面が長方形である請求項4に記載の騒音抑制器排気構造。
7. 孔がほぼ細長楕円形状をなす請求項1に記載の騒音抑制器排気構造。

8. 各々の孔が約幅0.25インチ(0.64センチメートル)×長さ2インチ(5.08センチメートル)である請求項7に記載の騒音抑制器排気構造。

9. 各々の孔が約幅0.25インチ(0.6センチメートル)×長さ2インチ(5.08センチメートル)である請求項2に記載の騒音抑制器排気構造。」